



# 3・燦・SUN ~認め合おう・話し合おう・創り出す~

The important thing is not to stop questioning. (Albert Einstein)

## 感心感心。勉強する習慣、ついていますね。

先日、仙台市標準学力検査が行われました。さすが3年生だなと思ったのは、早々と登校して勉強していた人がいたこと。更に、登校してきた皆さんに「教室で勉強したら？」と声を掛けたところ、みんな席について勉強を始めていました。

昨年の終盤、皆さんは本当に意欲的に勉強して実力考査や2学期末考査で平均点を大きくアップさせました。今年も出だしからいい調子ですね。12月から1月には、皆さんの実力は急カーブを描いて月面まで届きそうですね。

## 新クラスに慣れない人へ大丈夫、これからだ

新クラスになって1週間が過ぎました。まだまだ新しい環境には慣れませんよね。人間誰しも環境の変化に弱いもの。始業式での学級担任発表では、口をあんぐりと開けてしばらく反応できない人が何人かいました。

何よりも、学級のメンバーが一新されたことで、気持ちが不安定になっている人もいることでしょう。でも、大丈夫。これからです。お互いを理解し合う時間は11ヶ月もあります。あせらず、でもいつでもオープンマインドで、誰とでも言葉を交わせるようにしておきましょう。誰に対しても減点法ではなくゼロから加点していくようにすると、良いところを見つけることができますよ。

## 「学力」とは「生きる力」「コミュニケーション力」

「学力向上」とよく言われますが、皆さん、「学力」とは何か、答えられますか。

「学力」の定義(意味)は、時代とともに変わります。30年くらい前までは、「学力」=「知識」だったのですね。

しかし、今ではマウスをクリックするだけで知識は手に入ります。現代社会で重要視されているのは、「知識」と「知識」をどう結びつけるか、結びつけたことをどのように提示するか(プレゼンテーション)、すなわちコミュニケーション力。

しかも、決まった1つの答えを目指すのではなく、「正解がたくさんある」。授業で誰かが正解を出したとして、他に考えられる正解はないかを探ること、「思考する」ことが大切なのです。

実はこれ、日本のお家芸。いわゆる「おもてな

し」とは、1人1人の異なるニーズに応じて、満足してもらうこと。相手の気持ちを理解して(読んで)、何をすれば良いか、プラスアルファで考え、相手に合わせて実践する。これぞまさに世界中で要求されている「現代の学力」なのです。

各教科の授業では、皆さんに対していろいろな問題が課されます。「知識」が問われている問題なら即答、「思考力」が問われているのなら、より多くの答えを見つけ出しましょう。友だちと話し合う時間は重要です。お互いのアイデアをぶつけ合って、更に良い答えを見つけ出そう。

## 修学旅行間近!~あなたの知らない東京 その3~

今回は、皆さんも見学する東京スカイツリー。634mという桁違いの高さを誇るスカイツリー。あれだけの物を作り、しかも安心・安全を実現しているそのハイテク技術は、実は「五重塔」からいただいたのです。

日本の伝統的な建造物「五重塔」は、これまでに地震による倒壊例がありません(!)。その理由は、建物中央にあつて建物自体からは独立している柱=心柱にあります。この心柱が揺れることで地震のエネルギーを逃がし、建物を守っているのですね。

スカイツリーでは、中央部に鉄筋コンクリート製の円筒(やっぱり「心柱」として機能させ、揺れを制振しています。大地震時には40%程度も低減することができるそうだから、安心して上ることにしましょうか。

## 親は君のために必死に働いている~考えようお金の使い方

修学旅行では、お小遣い1万5千円+研修費を持って行くことになっています。それ以前に旅行代金が6万数千円。さてそのお金、誰が出しますか。皆さんの保護者ですよ。

親は子どものために必死になって働きます。子どものためなら旅行代金も払います。それが皆さんのためになると信じているからです。

もらった物は返す。これが世の中にルールです。ですから皆さん、お金を大事に使いましょ。しっかりと研修してきましょう。そして修学旅行に行く前も帰ってきてからも、家の人に感謝して、もらった分を何かの形でお返ししましょね。

始業式で\*\*君が発表した「3年生の抱負」です。

## 「群中生としての自覚」3年1組 高橋 俊成

いよいよ義務教育のまとめの1年が始まります。これまで培ってきたこと全てを生かして、学校を引っ張る勝負の時です。学校全体のリーダーとして活躍するとともに、個人的には、将来のためにより良い人間関係を作れるよう、この1年間学んでいきたいと考えています。

このことを実現するためには、昨年までに学んだ次の2つのことが特に大切だと思います。

1つめは「相手の立場に立って行動すること」です。3年生ですから、部活動や委員会などでリーダーとして活躍する場面がたくさんあるでしょう。

私は昨年度、学級委員を務めさせていただきました。学級委員が果たす役割のうち、最も重要なことは、中心となって行動し、学級をまとめることです。振り返ってみると、私はリーダーとしての役割をあまり果たせていなかったように感じています。その理由は、私の声かけの仕方にあると思います。私は、「静かにして」などと、用件をそのまま大きな声で言っているだけでした。声かけは、人にやる気を出させることが重要です。理想の声かけをするため、自分でロールプレイをし、シミュレーションをして、これならやる気が出る、これを言われたら嫌だな、と1つ1つ確認をしてから言葉にすることが大切だと思いました。

2つめは、常に団体を意識することです。

去年の運動会の時のことです。学年種目は大縄跳びで、私は縄を回す役割を担当しました。最初の頃、練習しても全く跳べず、重苦しい空気の中で時間だけが過ぎていきました。しかし、クラスの誰もが、声を掛け合うなど一生懸命でした。そこで私も、自分にもっとできることはないかと考えました。そして、みんなが跳びやすいように縄を回す工夫を思いつきました。みんなの足下で縄をバウンドさせることを意識し、跳ぶタイミングが合うように声をかけるようにしたところ、跳べる回数がどんどん増えていきました。運動会当日には54回を跳び、1位を獲得することができたのです。この結果は、クラス全員がクラスという団体を意識したからこそ獲得できたのだと思います。団体を意識することでチームワークが生まれます。これは部活動や委員会にも生かせるので、自分のテーマとして持ち続けていきたいです。

一方で課題もあります。1つは勉強方法を工夫することです。

私の定期考査に向けた勉強方法は、「簡単な問題を数多く解いて自信を付ける」というものでした。この方法で基本的な知識は身に付きましたが、応用問題や思考力を問う問題ではあまり良い点数

を取ることができませんでした。

私たちは約11ヶ月後に義務教育を終えます。受験もありますが、上級学校に入ることだけでなく、その後の将来も考えて、「正しく考える」力を養っておく必要があります。そこで、基本的な問題を解き、自信が付いたら問題のレベルを上げて、思考力を鍛えていきたいです。

もう一つの課題は忘れ物です。私は宿題や課題を忘れることが時々ありました。この点を改善するためには、マイノートの使い方を工夫する必要があります。毎日家に帰ってからマイノートを見直して、課題や提出物を確認する習慣を付けたいと思いますし、常に周りから見られているつもりで、緊張感を持って行動することが大切だと思います。

最後に、私は自分たちが「群中生」とであると自覚することがとても大切だと思います。群中生としての誇りを持ち、学校で、地域で、そして社会でがんばっていききたいと思います。



4月13日(月)、桜の木の下にて。3年1組



同3年2組